

令和2年度 基本評価調書

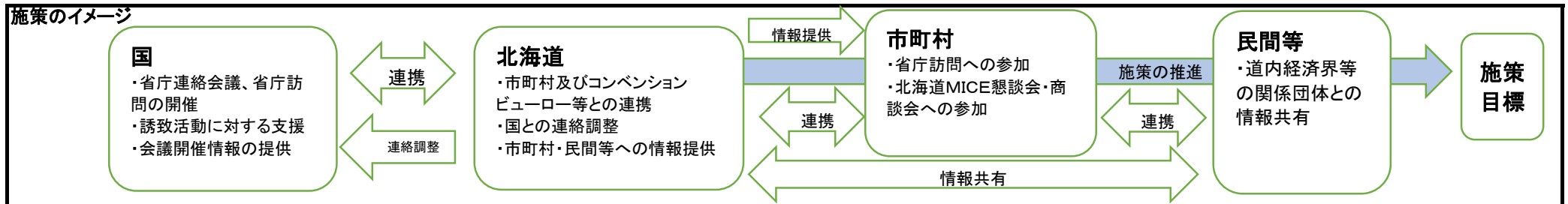
施策名	国際会議等の誘致推進	所管部局	総合政策部	作成責任者	総合政策部長 倉本 博史	施策コード	02 - 06
総合評価	効果的な取組を検討して引き続き推進	照会先	国際課企画調整係 (内21-213)	関係課	国際課	政策体系コード	2(6)B

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定

現状と課題	施策目標	施策の予算額(千円)	
<p>・道では、平成20年7月の北海道洞爺湖サミット開催を契機に国際会議等誘致の取組を強化し、太平洋・島サミットやAPEC貿易担当大臣会合、昨年のG20観光大臣会合などの道内開催を実現してきたところ。</p> <p>・本道の国際会議の開催件数は、2009年の92件から2018年の116件と増加傾向にあるが、直接的な経済効果はもとより、人的ネットワークの強化等の観点から、更なる開催件数の増加を目指し関係機関との連携を深めるとともに、国をはじめとした主催者からの情報収集や本道の魅力発信など、より効果的な誘致活動に取り組む必要がある。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の拡大状況等を注視しつつ、今年度の本道で開催予定の国際会議の実施の可否や今後の誘致活動について、国や関係機関と必要な調整</p>	<p>・本道の知名度向上や国際化の推進、交流人口の拡大等による地域の活性化を図るため、国及び地域の関係者との連携を強化しながら、引き続き、国際会議等誘致の取組を推進する。</p>	H30	6,000
		R1	52,000
		R2	0

項目	政策体系	国の役割・取組等	道の役割・取組等	市町村の役割・取組等	民間等の役割・取組等
【誘致推進】	2(6)B	<ul style="list-style-type: none"> 国際会議等の北海道開催の推進に係る省庁連絡会議(国交省)の開催、所管省庁への訪問の実施 道や道内各自治体が行う誘致活動に対する支援 各省庁等から入手した会議開催情報の提供(国交省) 	<ul style="list-style-type: none"> 国際会議等誘致に積極的な札幌市をはじめとした市町村や各地域のコンベンションビューロー等との連携 省庁連絡会議の開催や所管省庁への訪問における国との連絡調整や会議誘致のプレゼンテーションの実施 市町村への情報提供や会議誘致の意向確認等 	<ul style="list-style-type: none"> 省庁訪問への参加 北海道MICE懇談会・商談会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 道内経済界等の関係団体との情報共有



令和2年度 基本評価調書

施策名	国際会議等の誘致推進	施策コード	02 — 06
-----	------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
--------------------------------	-----------------

今年度の取組

1-2 取組の結果

政策体系 及び 関連計画等	今年度の取組	実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響等	道民ニーズを 踏まえた対応
2(6)B 【創生】 A3323 【公約】 C0129	◎国交省が主催する国際会議等の北海道開催の推進に係る省庁連絡会議への出席等を通じた関係省庁との連携強化 ◎道内各市町村・コンベンションビューロー等との連携強化及び各省庁等への訪問による国際会議等の開催に係る情報収集 ○道内経済界等の関係団体との国際会議誘致に係る情報共有 ○日ASEAN交通次官級会合の開催支援及び地域PR等の取組実施	令和元年10月に開催されたG20観光大臣会合において食や文化といった本道の魅力発信に取組むとともに、11月には国が主催する「国際会議等の北海道開催の推進に係る各省庁連絡会議」に出席し、各省庁に対して政府系の国際会議等の北海道開催について要請を行ったほか、道内市町村・コンベンションビューロー等と連携して関係省庁への訪問を実施して、国際会議等の開催に係る情報収集と道内開催への働きかけを行った。また、「北海道国際会議等誘致推進会議」関係者との間で、国際会議等に係る要請活動等の情報共有を図った。 《新型コロナウイルス感染症の影響等》 コロナ禍において海外との往来が制限され、今後の収束も見通せない中で、省庁連絡会議の開催など、将来の国際会議の誘致に向けた検討はできていない状況。令和2年7月に予定されていた「日ASEAN次官級交通政策会合」が開催延期(開催時期等は未定)	北海道MICE誘致推進協議会などを通じて、構成団体などから地元での開催を希望する国際会議に係る誘致ニーズを把握している。令和元年11月には、札幌市から同市が誘致を希望する国際会議の所管省庁を訪問したい旨の要望があったため、同市とともに関係省庁を訪問。

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

連携種別 (政策体系)	連携内容	連携先		取組の実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響
		施策コード	関係部・関係課	
施策・部局 2(6)B	・北海道MICE誘致推進協議会を通じた経済部との連携による、道内コンベンション都市に係るPR等の実施	0505	経済部観光局	経済部が所管する北海道MICE誘致推進協議会と連携して省庁訪問を実施するなど、効率的に国際会議の誘致活動を実施した。 《新型コロナウイルス感染症の影響等》 コロナ禍における今後の誘致活動に向けた取組について、省庁訪問の開催時期や実施方法などを国交省と調整中。
地域・民間	・北海道MICE誘致推進協議会との連携による、道内コンベンション都市に係るPR等の実施		北海道MICE誘致推進協議会 構成団体(札幌、旭川、函館、帯広、釧路、北見、登別)	北海道MICE誘致推進協議会の構成団体と連携して省庁訪問を行うなど、効率的に国際会議の誘致活動を実施した。 《新型コロナウイルス感染症の影響等》 コロナ禍における今後の誘致活動に向けた取組について、省庁訪問の開催時期や実施方法などを国交省と調整中。
地域・民間	北海道国際会議等誘致推進会議との連携による、国際会議等に係る要請活動の情報共有		北海道国際会議等誘致推進会議 構成団体(道市長会、道町村会、道経連、商工会連合会、経済同友会等)	国際会議等の誘致に係る要請活動の実施内容等の情報共有を行って、道内経済界等関係者と連携を図った。 《新型コロナウイルス感染症の影響等》 コロナ禍における今後の誘致活動に向けた取組について、省庁訪問の開催時期や実施方法などを国交省と調整中。

令和2年度 基本評価調書

施策名	国際会議等の誘致推進	施策コード	02 - 06
-----	------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

(H:平成、R:令和、大文字は年度、小文字は暦年)

3-2 成果指標の達成度合

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		評価年度	H28	H29	H30	達成度合の分析ほか
		基準年度	h26	年度	r2	最終年度	r7	達成度合	A	A	B	
国際会議等の開催件数(暦年)		基準年度	h26	年度	r2	最終年度	r7	達成度合	A	A	B	【内的要因】 「北海道MICE誘致推進協議会」への参画をはじめ、構成団体と連携して省庁訪問を行うなど、効率的な国際会議の誘致を行った結果、概ね順調な成果が表れている。 【外的要因】 特になし
		基準値	107	目標値	125	最終目標値	140	年度	H30	R1	進捗率	
【指標の説明】 道内で開催された国際会議等の開催件数(日本政府観光局(JNTO)公表「国際会議統計」による) 【アウトカム指標】 道内における国際会議等の開催動向を把握する指標として設定。	根拠計画	政策体系		増減方向		達成率の算式		目標値	119	122	140	
		北海道総合計画	2(6)B	増加		(実績値/目標値)×100		実績値	116	-	116	
							達成率	97.5%	-	82.9%		

● 本施策に成果指標を設定できない理由

--

● 達成度合について

達成度合	A	B	C	D	-
直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

令和2年度 基本評価調書

施策名	国際会議等の誘致推進	施策コード	02 - 06
-----	------------	-------	---------

Do & Check 施策評価 一次政策評価結果(各部局等による評価)

5 一次政策評価結果と翌年度に向けた対応方針等

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A	B	C	D	-		
	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可		
2(6)B		1				A・B指標のみ	<国際会議等の開催状況(暦年)【B】> 北海道MICE誘致推進協議会への参画をはじめ構成団体と連携して省庁訪問を実施するなど、効率的な国際会議誘致の取組を進める。
						-	
						-	
計	0	1	0	0	0	A・B指標のみ	

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○→対応している) (△→コロナの影響)	理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	△	国および地域の関係者との連携を強化しながら、国際会議等の誘致の取組を推進しており、一定の成果が上がっているところであるが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、海外との渡航が著しく制限されている中で、本道で開催が予定されていた国際会議の中止や誘致活動の停滞などにより、今後の成果指標の悪化が懸念される。
基準2~4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由(新型コロナウイルス感染症の影響で取組がない場合は理由を記載)
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	国が主催する「国際会議等の北海道開催の推進に係る各省庁連絡会議」に出席し、各省庁に対して政府系の国際会議等の北海道開催について要請を行った結果、国際会議等が道内で開催されている(コロナ禍において今年度の国への要望等については、関係省庁と調整中。)
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	市町村への情報提供等を通じて、国際会議誘致に係るニーズを把握している。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携や地域・民間との連携・協働による成果を確認できるか	○	経済部観光局と連携して、各省庁への訪問を実施した結果、道内に国際会議を誘致することができた。 また、道内市町村・コンベンションビューローと連携して、各省庁への訪問を実施した結果、道内に国際会議を誘致することができた。
判定			C

・基準1が「○」で、かつ基準2~4のうち1つ以上に「○」がある→ a
 ・基準1が「○か△」ではない、又は基準1は「○か△」だが基準2~4に1つも「○」がない→ b
 ・基準1が「△」で、かつ基準2~4のうち1つ以上に「○」がある→ c

令和2年度 基本評価調書

施策名	国際会議等の誘致推進	施策コード	02 - 06
-----	------------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 評価結果の反映 (1) 一次政策評価結果への対応

対応方針 番号	対応	事務事業
①	<新たな取組等> ・海外との渡航制限など国際会議の誘致活動に影響が生じている中、関係省庁からの会議開催情報等の収集に努め、市町村やコンベンションビューローと情報共有を図るなど、ポストコロナを見据えながら積極的に誘致活動を展開していく。	改善: 国際会議誘致事務

(3) 事務事業への反映状況

方向性	拡充	改善	縮小	統合	廃止	終了	合計
反映結果		1					1

次年度新規事業 (予定)
0

事務事業 整理番号	事務事業名	一次政策評価における 方向性(再掲)	次年度の方向性 (反映結果)
1006	国際会議誘致事務	改善	改善